

**◆H29年度 江東区千田福祉会館  
指定管理者評価 【事業評価報告】**

【項目別評価】	【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切
全体講評	
良い点 1	<p>多世代交流の理念にもとづき、「千田村サークル」として、多世代の登録メンバーによる屋上緑化活動を継続し、自然な交流につなげようとしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的な多世代交流をめざしており、屋上菜園を活用し、3施設横断で取り組む多世代交流事業を進めている。「千田村サークル」は、登録した参加メンバーの合議で福祉会館の村長が参加し、子どもと共に組織的に進めている。活動の様子は、3階の掲示板に常時掲示し、最新の取組みがわかるようになっていく。</li> <li>・ 児童館に併設されている学童クラブや、児童館の子ども達とは、マンカラというインド由来のゲームや、囲碁将棋などを通して、ゆるやかな交流を行なっている。</li> <li>・ 定期的な交流活動を継続する中から、高齢者が自然に児童のいるスペースに訪れるような、自然な交流をめざし、しかけを検討している。</li> </ul>
良い点 2	<p>利用者意向を把握し評価して事業を見直すサイクルが定着しており、利用者ニーズに応える介護予防活動などを充実している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人として、利用者アンケートを毎年実施するほか、利用者の意向を把握する意見箱を設置し積極的に意向を把握している。</li> <li>・ 会館のお風呂の利用についての利用者意向を検討し、これまでのルールを見直すなど、積極的に改善につなげている。把握した意見への対応については、なないろ通信として発行し、玄関フロアの掲示板に貼り出して周知したり、利用者懇談会や地域懇談会などで報告している。</li> <li>・ 年々、介護予防活動への関心が高まる中、介護予防教室の抽選にもれる人が続いているため、常駐の看護師による自由参加の介護予防プログラムを週2回実施し、健康情報も発信するなど利用者ニーズに応えている。</li> </ul>
良い点 3	<p>3事業所が一体として職員の情報共有を徹底して目標をすり合わせ、利用者への対応の質を高めている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の教育事業部3事業に従事する全社員が参加するキックオフミーティングを毎年の年度当初に開催している。この場で、3事業の年度方針、目標、重点事業の柱などを発表し、各施設部門の事業計画の周知や達成度を含めた確認をして共通理解を図っている。</li> <li>・ 事業所内では、職員の対応にバラつきがあるとの声に対して、職員の情報を共有する場を増やすためのミーティング機会を増やすなど、問題解決に取り組んでいる。</li> <li>・ さらに、日々の3事業所の情報共有を図るため、「なないろ通信」として、3事業の1日の動き、特に気になることなどをA4-1枚のシートに整理し、入社後、全員の職員が目を通し押印して確認を徹底している。</li> </ul>

**◆H29年度 江東区千田福社会館  
指定管理者評価 【事業評価報告】**

【項目別評価】	【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切
改善点1	<p>地域の拠点の役割の発揮が期待される中で、3事業所の方針や取組みを統合するとりまとめを期待したい</p> <p>・3つの事業部門間の理念は、法人の理念を展開したものであり、内容も近いものを含んでいる。利用者同士の交流や、合同行事が実施されていることを踏まえると、会館全体の理念としての統合や、共通理念と個別理念を定めるなど、事業の一体化をふまえた整理が期待される。</p> <p>・また、法人内部では、理念、中期方針、年度目標、年度事業計画、主要事業が体系的に整理されていることから、外部に発信するパンフレットや、地域懇談会等での配布資料についても、そのコンセプトと、コンセプトを踏まえた事業との関連性がわかるように、情報を発信していきたい。</p>
改善点2	<p>乳幼児から高齢者までが利用する施設の拠点機能をさらに活かす方向での検討を期待したい</p> <p>・児童館としての乳幼児対象の事業や保護者向けの事業などの企画と実践を行う福社会館として、利用者対象の様々な企画や場所提供、登録制の学童クラブ事業の他に、行政で実施されている事業の展開など様々な事業内容の展開が見られる。</p> <p>・初めて企画として地域の婦人会でも出前福社会館などの取組みも見られ、新たな利用につなげようとしている。</p> <p>・人が集まる設備があり、交流ができ、外部の長寿サポートや子ども家庭支援センターや小学校等との連携もとることができる、そして専門のスタッフが常駐している、こうした強みを活かし、乳幼児から高齢者までの利用ができる拠点機能としての役割を積極的に活かす方向での検討を期待したい。</p>
改善点3	<p>元気高齢者や意欲のある高齢者を担い手として巻き込み、月間カレンダーのプログラムの充実を図ってほしい</p> <p>・福社会館については、新しい利用者の掘り起こしが必要となっていることから、周辺地域の婦人会の要請をうけて、出前福社会館の活動を行うなど、新たな取組みを開始している。</p> <p>・現在、介護予防事業の参加希望が多く抽選となっており、毎年抽選から漏れる利用者が出る状況が続いている。施設では、看護師により継続して運動が行える環境を整える努力をしているが、高齢者の介護予防への取組み意欲を受け止め、長寿サポートと連携して、自主グループ化を促して運動への機会を広げるなど、さらなる改善が期待される。</p> <p>・また、現在実績の少ない障害者など新たな利用者にむけ、例えばVRなど最新の福祉機器を体験する機会の提供など、多世代の関心の持てるテーマの発信も求められる。</p>

◆H29年度 江東区千田児童館/学童クラブ  
指定管理者評価 【事業評価報告】

【項目別評価】	【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切
全体講評	
良い点1	<p>多世代交流の理念にもとづき、法人のもつ資源、事業環境の変化を踏まえて、魅力ある企画を提供している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の英語事業は、法人が英会話スクールを運営していた歴史を踏まえ、ネイティブ指導員と遊ぼう、英語でスポーツなど特色あるプログラムとなっている。</li> <li>・日常的な、多世代交流をめざし、屋上菜園を活用し、3施設横断で取り組む多世代交流事業「千田村サークル」は、参加メンバーの合議で福祉会館の村長を招き、組織的に進めている。</li> <li>・江東区では、本年度より全小学校に放課後子ども総合プランが整備される中、当該施設においては、乳幼児とその保護者や、高齢児にターゲットを置いた魅力あるプログラムの展開が求められている。</li> <li>・こうした中で、法人のなないろプログラムを柱に、母子分離プログラムなど地域子育て支援事業の導入、学習要領の見直しをふまえた初歩のプログラミングを学ぶロボット教室など、多彩な展開をしている。</li> </ul>
良い点2	<p>利用者意向をていねいに把握し、評価し、事業を見直すサイクルが定着している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人として、利用者アンケートを毎年実施するほか、中高生の意向を把握するもしもボックスなどの意見箱を設置し積極的に意向を把握している。</li> <li>・把握した意向についての対応方針は、職員間で検討し、様々な見直しにつなげている。これらの結果は、なないろ通信として発行し、玄関フロアの掲示板に貼り、利用者に周知している。</li> <li>・また、利用者のアンケートの結果等の意向を集約したものを、利用者懇談会や、地域連絡会、地域懇談会などで報告している。</li> <li>・意向を集約したものは、法人教育事業部における次年度の計画検討にあたり、共有している。</li> </ul>
良い点3	<p>3事業所が一体として職員の情報共有を徹底して目標をすり合わせ、利用者への対応の質を高めている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の教育事業部3事業に従事する全社員が参加するキックオフミーティングを毎年の年度当初に開催している。この場で、3事業の年度方針、目標、重点事業の柱などを発表し、各施設部門の事業計画の周知や達成度を含めた確認をして共通理解を図っている。</li> <li>・事業所内では、職員の対応にバラつきがあるとの声に対して、職員の情報を共有する場を増やすためのミーティング機会を増やすなど、問題解決に取り組んでいる。</li> <li>・さらに、日々の3事業所の情報共有を図るため、「なないろ通信」として、3事業の1日の動き、特に気になることなどをA4-1枚のシートに整理し、出社後、全員の職員が目を通し押印して確認を徹底している。</li> </ul>

◆H29年度 江東区千田児童館/学童クラブ  
指定管理者評価 【事業評価報告】

【項目別評価】	【評価】◎:とてもよい ○:よい △:最低限 ×:不適切
改善点1	<p>地域の拠点の役割の発揮が期待される中で、3事業所の方針や取組みを統合するとりまとめを期待したい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの事業部門間の理念は、法人の理念を展開したものであり、内容も近いものを含んでいる。利用者同士の交流や、合同行事が実施されていることを踏まえると、会館全体の理念としての統合や、共通理念と個別理念を定めるなど、事業の一体化をふまえた整理が期待される。</li> <li>・理念については、目標や成果の進捗を図るための指標が設定できれば、進捗の把握に役立つと思われる。</li> <li>・また、法人内部では、理念、中期方針、年度目標、年度事業計画、主要事業が体系的に整理されていることから、外部に発信するパンフレットや、地域懇談会等での配布資料についても、その方針を明示し、方針と事業との関連性がわかるように、情報を発信していきたい。</li> </ul>
改善点2	<p>乳幼児から高齢者までが利用する施設の拠点機能をさらに活かす方向での検討を期待したい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館としての乳幼児対象の事業や保護者向けの事業などの企画と実践を行う福祉会館として、利用者対象の様々な企画や場所提供、登録制の学童クラブ事業の他に、行政で実施されている事業の展開など様々な事業内容の展開が見られる。</li> <li>・初めて企画として地域の婦人会でも出前福祉会館などの取り組みも見られ、新たな利用につなげようとしている。</li> <li>・人が集まる設備があり、交流ができ、外部の長寿サポートや子ども家庭支援センターや小学校等との連携もとることができる、そして専門のスタッフが常駐している、こうした強みを活かし、乳幼児から高齢者までの利用ができる拠点機能としての役割を積極的に活かす方向での検討を期待したい。</li> </ul>
改善点3	<p>学童クラブの子どもが落ち着いて主体的に過ごせるよう、動線に配慮した室内環境の使い方の工夫や検討を期待したい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブの目標には、児童が見通しをもって行動できるよう適切なサポートを行うとなっているが、自分で考えて行動できる児童が少ないと感じている。</li> <li>・見学時にも多くの児童が1フロアの広いスペースで過ごし、机や棚の配置によって動線が混乱し、子どもの落ち着きを阻害している状況も感じられた。</li> <li>・児童が落ち着いて過ごせるよう、動的な遊びスペースと静的な遊びスペースに分けるなどの工夫とともに、少人数で遊べるよう間仕切りをしたり、本棚を一か所にして読みたい本が移動しなくても手に取ることができるようにするなど、室内環境の使い方の工夫や検討を期待したい。</li> </ul>